

「地域と共にこれからも」



令和2年9月1日現在		
男性	748名	合計1,265名
女性	517名	
発行・編集		
本部: 目黒区目黒1-25-26 (田道ふれあい館)		
TEL▶03-3793-0181 ▶FAX03-3793-0588		
分室: 目黒区目黒本町2-1-20		
TEL▶03-5721-2593 FAX▶03-5721-2594		
HPアドレス▶ <a href="https://www.meguro-sc.or.jp/">https://www.meguro-sc.or.jp/</a>		

## 目黒区長との懇談会

令和2年7月7日(火) 10時から、令和2年度の目黒区長とセンター役員(理事・監事)の懇談会が開催されました。今年は、区役所の大会議室を会場とし、座席の間隔を広く取るなど新型コロナウイルス感染防止対策を実施しての開催となりました。青木英二目黒区長と木塚会長の挨拶に続き、各委員会の報告やセンターから目黒区に対しての要望、意見交換などが行われました。



### 区への要望事項

- 1 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う事業実績への影響に関する支援について
- 2 政策目的随意契約による事務事業の発注について
- 3 屋外作業等に係る契約における熱中症予防のための要望について
- 4 めぐろ区報一面を使用したセンターPR記事の掲載等について

## 小学1年生の「防犯体験教室」

「日本こどもの安全教育総合研究所」が主催する区立小学校新1年生を対象とした防犯教室に、今年もセンター会員が就業しました。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で小学校の始業が遅れましたが、6月から10月までの期間に烏森小を皮切りに駒場小まで順次全22校で実施されています。紙芝居、防犯ベルの使い方、子ども110番模擬訓練など、入学ホヤホヤの1年生に笑顔でやさしく接することをモットーに会員も童心にかえり楽しく教室のお手伝いをしました。登下校中に見知らぬ人に甘い声をかけられたら、ランドセルを捨てて近くの子ども110番の家、商店、コンビニなどに駆け込むなどの体験学習が、少しでも児童の防犯力を高めることに役立つことを願っています。



## センター紹介パネル展

全国シルバー人材センターの「事業普及啓発促進月間(10月)」に合わせ、当センターでも10月を「会員増員強化月間」に設定しています。当センターのPRおよび会員募集を目的とし、10月19日(月)～10月23日(金)の5日間、区総合庁舎1階西口ロビーにてパネル展を開催致します。会員の皆様は、区内の知人、友人などにご紹介下さい。ご来場をお待ちしております。

※コロナ禍の中での開催となりますので、ご来場時のマスク着用等感染防止にご協力をお願い致します。



## 代表理事の選任と理事の役割変更

7月22日(水) 第4回理事会において、役員に変更がありました。朝香副会長の辞任に伴い、代表理事1名の選任決議が行われ、新副会長に磯村理事(駒場班)が選任されました。その他、変更のあった理事の役割(委員会委員長等)は、右記のとおりです。



副会長  
磯村 二郎

### — 就任挨拶 —

此度突然での大役選任に甚だ戸惑っていますが、これまで通り目の前にある仕事を地道に努力していきたいと考えます。世界中の人々が苦しみとまどい闘っている「コロナ禍」、「新常態」の世情の中、「人生100歳時代のシルバー人材センター」はどうあるべきか、大先輩である会員のみなさまと共に考えていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### — 変更後の役割 —



事業運営委員長  
新規開拓担当リーダー  
三木 健二



危機管理安全委員長  
入会促進担当リーダー  
櫻井 誠



## 就業現場での新型コロナウイルス感染拡大防止対策

新型コロナウイルス感染症拡大により令和2年4月7日に緊急事態宣言が発令されました。当センターは発令を受けて、感染拡大防止のため、就業中止や規模の縮小という対策を講じました。緊急事態宣言解除後は、新しい日常の定着に向けて、目黒区をはじめ発注者の皆様のご協力のもと、各就業現場で感染防止対策に取り組みながら就業を行っています。

### 〈就業現場からのコメント〉

- ①具体的な対策について ②就業中気をつけていること

### 東京工業大学 検収センター

- ① 就業前の机、椅子の消毒。事務用品を消毒済みと使用済みに分け、随時消毒を実施。検収センターの入り口は、窓を全開して換気。
- ② 配送業者の来所の際は、検温の実施と手の消毒の協力を依頼、物品の検収時は、フェイスシールドを着用し感染防止に気を付けています。



### 自転車集積所

- ① 返還申請記入時のテント内に大型扇風機とアクリルパネルを設置。就業者全員にフェイスシールドと手袋を支給。
- ② 返還申請者と自転車の撤去業者など外部の人との接触が多い職場なので、感染リスクは高いと考えています。就業会員全員が常にハイリスク下にいることを意識し、検温、手洗いなどの感染対策を日々実践しています。



### 目黒区役所印刷室

- ① 入室時にマスクの着用と手指の消毒の励行。手指の消毒を促す注意書きを印刷機に貼り付け。昼休みに全機械の手指の接触箇所などを消毒し、その記録を管理。
- ② 地下で窓のない部屋のため、二つのドアは常に開放し、扇風機を使い一方のドアに向かって空気を排出して、空気が滞留しないように配慮しています。



### 駒場野公園 (デイキャンプ場の利用案内)

- ① 炉の数と利用者数の制限。利用者全員の名簿の提出。外国人向けに、留意点の英語版を作成。
- ② 受付では利用者との間に、針金とビニールシートで手作りした仕切りを設置しお互いの感染防止対策をしています。



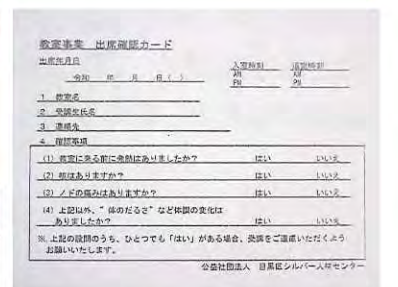
### 和処奈古味(センター直営レストラン)

- ① 出勤時の健康チェック。マスク、手袋の使用、手洗い、消毒の徹底。座席間隔の調整。
- ② お客様の入れ替え時は、テーブルとイスを消毒し、食事代金は、手渡しせずにトレーで受け渡しするなど感染防止に気を付けています。



### 実用書道教室 / パソコン教室

- ① 受講者の健康確認(出席確認カードの記入、検温等)。講座前の机、椅子、パソコンの消毒。
- ② 飛沫拡散を防止するために、講師はフェイスシールドを着用し、添削時(実用書道)はアクリルパネルを使用。定員数の削減や時間割の変更、窓開けや扇風機を使用して換気の徹底を実施。3密防止に気を付けています。



▲出席確認カード

## “少し様子が変わる”と思ったら…

当センターは「目黒区見守りネットワーク」に協力団体として参加しています。 地域貢献推進委員会

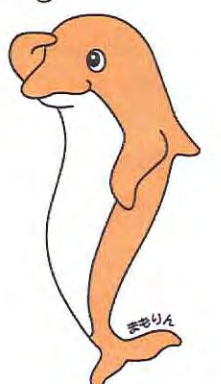
目黒区見守りネットワーク(愛称「見守りめぐねっと」)は、日常生活の中で何らかの支援を必要としている人の「ちょっと気がかりなこと」に気づいたときに包括支援センターへ連絡することで、地域をゆるやかに見守っていく取り組みです。多くの方に関心を持っていただくことで、いくつかの「見守りの輪」を作っていきます。見守り対象は、高齢者や子ども、障害者など何らかの支援を必要としている全ての方です。“少し様子が変わる”と思ったら、包括支援センターに連絡しましょう。

- 新聞や郵便がたまっている…
- 洗濯物が干しっぱなし…
- 昼間でも雨戸が閉まったままになっている…
- ここ数日、姿を見ない…
- 不自然な服装をしている…
- 最近、怒鳴り声がよく聞こえる…
- 自宅への帰り道が分からない様子…

※お近くの「包括支援センター」へ連絡を!

包括支援センター	電話番号
北部包括支援センター	03-5428-6891
東部包括支援センター	03-5724-8030
中央包括支援センター	03-5724-8066
南部包括支援センター	03-5724-8033
西部包括支援センター	03-5701-7244

元気でイルカな?



●連絡を受けた包括支援センターでは、職員が訪問するなど状況を確認し、その後、必要な支援を行います。(連絡した方のことをお話することはありません)